

# 平成30年度 第2回 「下北地域公共交通総合連携協議会」

## 議 題

- (1) 下北地域公共交通網形成計画推進事業の取り組みについて
  - ・下北地域公共交通マップ及び乗継時刻表の作成について
  
- (2) 平成31年度事業について

## 議題（１）下北地域公共交通網形成計画推進事業の取り組みについて

### ・下北地域公共交通マップ及び乗継時刻表の作成について

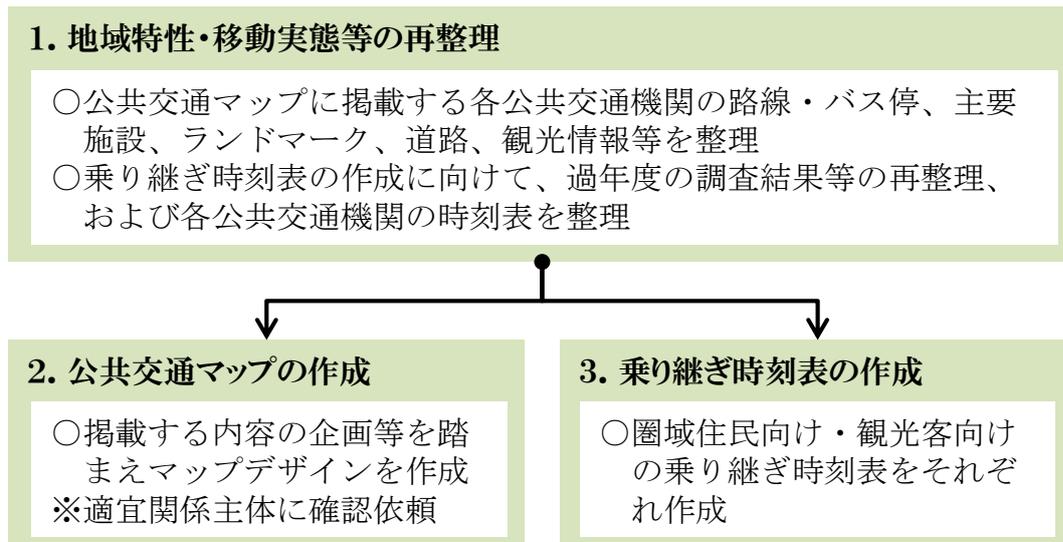
#### 【目的】

下北地域においては平成30年3月に「下北地域公共交通網形成計画（以下、網形成計画という）」を策定し、今年度から各種施策・事業等を取り進めることとしている。

網形成計画においては、「公共交通の再編・見直しに関連する施策」と「公共交通の再編・見直しと合わせて実施する施策・事業」が示されており、下北地域内における市町村間移動、圏域内外での移動を支える公共交通ネットワークの再編・見直しを行うなかで、公共交通を利用しやすく・わかりやすく利用してもらうことや、あるいは再編・見直しにより利便性が向上した公共交通を認知してもらうことが必要となる。

以上のことから、下北地域公共交通マップ及び乗り継ぎ時刻表を作成し、公共交通の利用しやすさ・わかりやすさの向上を図り、公共交通の利用促進に繋げるためのものである。

#### 【作成手順】



## 【公共交通マップの作成に係る方針】

実施方針 1 : 地域の特性（施設・地形など）をわかりやすく整理

実施方針 2 : 公共交通マップは情報量などを考慮して必要な情報を掲載

## 【公共交通マップの仕様・掲載項目等】

項目	概要
サイズ等	地図折りA2サイズ（展開時）、フルカラー
構成	オモテ面：下北圏域全体版 ウラ面：むつ市街地版
掲載項目	航路・鉄道・路線バス・域内交通の経路・バス停、主要施設、ランドマーク、乗り継ぎ拠点、観光情報 等

## 【マップ作成上の留意点】

- 住民や観光客等の移動などを踏まえて、主要な施設・ランドマークなどを記載。また、誰もが分かりやすい表示とするため、ピクトグラムで表現
- 乗り継ぎ時刻表との情報のリンクを考慮し、乗り継ぎ拠点を強調して表示
- 距離感などが視覚的に把握できるように、地形図をベースとして作成
- 誰もが見やすいマップとするため、文字サイズ・フォント等を考慮
- 市街地中心部は情報が集中するため、拡大図として市街地版のエリアを記載する
- 下北地区外との移動も考慮し、航路も記載
- 広域的な観光情報としてジオパークの範囲を記載

● : 全域版・市街地版ともに共通の視点    ○ : 全域版のみの視点

## 【乗継時刻表の作成に係る方針】

実施方針 1 : 住民の移動特性・実態を踏まえてツールを作成

実施方針 2 : 公共交通を活用した圏域内の観光周遊を提案するツールを作成

## 【乗継時刻表の仕様・掲載項目等】

項目	概要
サイズ等	住民向け：A 3サイズ（折り込みA 4仕上げ）、フルカラー 観光客向け：A 3サイズ（折り込みA 6仕上げ）、フルカラー
掲載項目	■下北圏域住民向け：3種類 ○広域路線バス、域内交通の乗り継ぎを中心に掲載 ○通院や買い物などのモデルコース掲載 ■観光客向け：1種類 ○鉄道・航路、路線バス、域内交通の乗り継ぎを中心に掲載 ○観光へのモデルコースや観光情報なども掲載

## 【乗継時刻表作成上の留意点】

- 下北圏域住民向けと観光客向けの乗り継ぎ時刻表を作成（全 4 種類）  
※住民向けは「佐井・大間・風間浦方面」「東通方面」「脇野沢・川内方面」の 3 方面を作成
- 移動特性・実態を踏まえて、乗り継ぎ方法（路線・バス停・ダイヤ）などをわかりやすく掲載
- 誰もが見やすい乗継時刻表とするため、文字サイズ・フォント等を考慮
- 利用しやすい時間帯などを表記するなど、外出がイメージしやすい表記方法に工夫（モデルコースの掲載）

## 議題（２）平成３１年度事業について

下北地域公共交通網形成計画に基づき、下記の事業を実施することといたします。

### 1. 高齢者運転免許証自主返納支援事業

高齢者の交通事故の減少と公共交通の利用促進を図ることを目的として、運転免許証を自主返納された70歳以上の申請者に、切符及び定期券購入費用のうち5,000円を上限として支援する。

### 2. 公共交通マップ及び乗継時刻表の配布

平成30年度に作成した公共交通マップ及び乗継時刻表について配布し、公共交通に関する情報発信を行う。

### 3. 市街地内路線の再編・見直しの検討

むつ市街地における居住環境の魅力向上および拠点間移動の利便性向上に向けて、既存路線の見直しの検討を行い、循環路線の導入についての検討を行う。

### 4. 公共交通の乗り方教室・イベント企画の開催

公共交通に対する意識醸成及び利用促進を目的として路線バスの乗り方教室の検討を行うとともに、イベント時などに路線バスの乗車体験やその他催しなど、住民が公共交通に触れる機会を創出する。

### 5. 観光・商業と連携した取り組みの展開

新たな利用者の獲得に向けて観光・商業分野と連携したサービスや企画乗車券などの展開に向けた検討を行う。